

平成 28 年度 動物愛護週間中央行事実施結果

1 動物愛護週間中央行事への参加

動物愛護週間は、広く国民の間に、命ある動物の愛護と適正な飼養について理解と関心を深めるために設けられているもので、国及び地方公共団体はその趣旨にふさわしい行事が実施されるように努めなければならないことが「動物の愛護及び管理に関する法律」第4条に定められている。

本会は、本年についても、東京都内で開催された「動物愛護週間中央行事」に、国及び東京都、台東区並びに動物愛護団体等で構成する中央行事実行委員会に主催者構成団体として参画した。

2 平成 28 年度動物愛護週間中央行事の実施結果

平成 28 年度動物愛護週間中央行事は、屋外行事が、9月17日(土)上野恩賜公園不忍池蓮池周辺で、屋内行事が、9月24日(土)東京国立博物館平成館講堂で開催された。

【スローガン】「いのち輝け 人と動物の愛の輪で」

【テーマ】“譲渡でつながろう！ 命のバトン

～新しい飼い主さんを探しています～”

(1) 9月17日(土) 11:00～16:00 屋外行事

屋外行事は、上野恩賜公園不忍池蓮池周辺にて開催された。

野外ステージでは、動物愛護セレモニーを始め、金子真弓氏による犬のしつけ方教室、どうぶつのふれあい方教室、柴犬まると小野慎二郎さんの～愛犬と楽しく暮らすためのヒント～、聴導犬デモンストレーション、○×クイズ大会等が行われ、各展示ブース・広場等では、熊本地震報告などペットの災害対策展示、外来動物について、東京都動物愛護相談センターのお仕事紹介、こど

も広場、動物かみしばい、ペット写真展、スタンプラリー等、各種の催しが行われ、来場者は約5,000名であった。

本会は、実行委員会構成団体として、事前の各種会議に参画するとともに、インフォメーションブース、動物お絵かきコーナー、マイクロチップによる個体識別措置事業の展示を担当した。また、動物お絵かきコーナーでは台東区長の訪問対応を行った。

(2) 9月24日(土) 11:00～16:30 屋内行事

屋内行事は、東京国立博物館平成館講堂にて、以下の2部構成で実施され、参加者は248名であった。

まず、環境省をはじめ実行委員会構成団体による各表彰式が行われた。本会は、「第28回日本動物児童文学賞表彰式」を実施した。

続いて、「熊本地震の被災ペット対応」の報告に引き続き、譲渡をテーマとした講演・パネルディスカッション「人も動物も幸せになれる譲渡とは」が開催された。



図1 屋外行事会場入口のアーチ



図2 動物愛護セレモニー



動物お絵かきコーナー



マイクロチップ普及啓発コーナー

図3 平成28年度 動物愛護週間中央行事 (屋外行事の様子)

〔第28回 日本動物児童文学賞表彰式〕

本年度大賞受賞者である高遠リョウ氏に、亀澤玲治環境省自然環境局長から環境大臣賞、境 政人 本会専務理事から日本動物児童文学大賞、小柳雅一 損害保険ジャパン日本興亜株式会社団体・公務開発部第二課長から副賞が授与された。

続いて、優秀賞受賞者である、さいわい徹氏に、境政人 本会専務理事から日本動物児童文学優秀賞と、末松茂道 アニコム損害保険株式会社取締役から副賞が授与された。

もう一人の優秀賞受賞者である佐々木 晋氏は残念ながら都合により欠席であった。

【日本動物児童文学大賞】

「ピーコの贈り物」 高遠リョウ (埼玉県)

【日本動物児童文学優秀賞】

「霧の波」 さいわい徹 (和歌山県)

「ピューマからムサシへ」 佐々木 晋 (北海道) (欠席)

〔動物愛護講演&パネルディスカッション〕

【報告】「熊本地震の被災ペット対応」 (環境省・熊本県熊本市)

【講演】「より良い譲渡に向けて」
講師：田中亜紀氏
(カリフォルニア大学デイビス校 研究員／
日本獣医生命科学大学 非常勤講師)

【講演】「譲渡するまでの適正はどう評価するのか？」
講師：入交眞巳氏
(日本獣医生命科学大学獣医学部
獣医学科 講師)



図4 第28回 日本動物児童文学賞表彰式での受賞者とプレゼンターの記念撮影

【講演】「動物愛護センターからの譲渡を増やすには？」
講師：遠山 潤氏

(新潟県福祉保健部生活衛生課
動物愛護・衛生係長)

【講演】「民間団体の譲渡事業について」
講師：友森玲子氏
(一社)ランコントレ・ミグノン／
(株)ミグノンプラン代表

【紹介】「譲渡の取り組み」(東京都・台東区)

【パネルディスカッション・質疑応答】
「人も動物も幸せになれる譲渡とは？」
パネラー：田中亜紀氏、入交眞巳氏、
遠山 潤氏、友森玲子氏
コーディネーター：
山崎恵子氏 (動物との共生を考える連絡会幹事)